

# 人口減少対策の具体策は

## 総合的取り組みの着実な実行で

**問** 人口減少は町の存亡に関わる重大な問題である。人口減少対策についての具体的な計画は。

**佐藤町長** 人口減少問題は、町としても重要な課題と考えている。しかし、即効性のある施策はなく、各種事業を着実に実行していくことに尽きると考えている。

**町長** 観光事業の推進、外国人研修生受け入れなど具体的な対策は。

**町長** 交流人口創出のため、町の自然、文化・産業の魅力を発信し、体験プログラムの開発、受け入れ態勢の整備などを進め、魅力ある地域づくりに取り組んでいる。

**問** 町外のみなし仮設住宅の入居者が帰ってきたと思う環境づくりも必要。実態は。

**町長** 町外のみなし住宅に住む方々は118世帯、町への帰還を望む方は36世帯。復興事業を推進し、帰ってこられる環境をつくりたい。

**問** 教育立町を目指してほしい。そのためには町民によく見えるガラス張りの教育行政が必要と思うが。

**佐々木教育長** 教育委員会が公平かつ公正にその機能を果たせるよう毎月

委員会を開催し、情報提供を適切に行っている。

**問** 年に60人前後の出生数を考えるとき、統廃合を含め新しい学校のあり方が検討されてよいのでは。

**箱山教育次長** PTA連合会理事会で目指す子どもの姿や教育環境のあり

方を話題にしていた。子どもたちの精神的安定を考えながら、いずれ検討しなければならぬ課題と考えている。

**問** 高等教育機関(大学)や研究所などを誘致し、地域の教育力向上を図っては。

**教育次長** 誘致は考えていないが、お茶の水女子大学などとの連携を強化し、積極的に子ども、地域の教育に関われるようにしたい。

### 新しい学校のあり方検討を

### 時期を見て意見を聞きたい

### 既存集落の環境整備を

### 道路パトロールで点検

**問** 復興のめどが立った現在、既存集落の環境整備に取り組む必要があるのでは。

**町長** 豊間根地区の歩道整備事業や長内橋の改修事業、その他各地区の要望に応え、町道などの補修、管理に努めている。

**問** 旧山田地区には傾斜地近くに立地している集落が多い。このままでは

復興団地との生活環境に格差が生じ、空き家集落になる心配もある。点検し、生活環境向上に努めるべきでは。

**川守田建設課長** 既存集落を中心に、月1回道路パトロールを実施し、必要があれば道路補修などの環境整備に努めている。



田村剛一 議員  
(未来クラブ)



人口減少対策が望まれる当町